（別紙4（2））

事業所名：グループホームはっぴーらいふ

作成日：　平成　30　年　　2　月　28　　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームの経年と共にご利用者の現状が変化しており、現状に即した理念への見直しが必要である。	全職員が理念を共有し、個人目標に向けたケアを実践することで、サービスの質の向上を図る。	①全職員が現在の理念をしっかり理解し、現状を踏まえたうえで理念の見直しを行い、新理念の作成と具体的な方針を立てる ②方針に対して個別に目標を立て、半年に1回見直し・達成度を確認する ③朝の申し送り時に理念・方針を復唱し、職員への意識づけを図る	12ヶ月
2	33	急変時の対応について、ご家族の希望を確認しているが、口頭のみで同意書を交わしていない。	急変時の対応について、ご家族の希望や意思の確認書を取ることで、対応方法を明確にしておく。	①入居契約時の際に、急変時の対応について、ご家族の希望を確認・記録する ②急変時の対応について、延命措置など確認書を取っておく ③確認書を取った後も、ご利用者の状態変化や担当者会議の際等定期的に再確認する	12ヶ月
3	10 54	玄関に一言箱を設置しているが、ご家族等が利用されることがなく、また自由にご意見等を言える機会もすくないため、真のご意見や要望が伺えていない。	ご家族のご意見等を運営面や利用者へのケアに反映するすることができて、運営やサービス向上につなげることができる。	①ご家族と職員との親睦会を企画し、ご家族が自由に意見を出されるような場を設定する ②ご家族が出席しやすい日に行事を開催し、開催後にご家族同士で情報交換ができる環境を作る ③定期的にホーム便りを作成し、その中で、ご家族の協力やアンケートの記入等をお願していく	12ヶ月
4	40	食事の際のテーブルと椅子の高さが適切でない方がある。	食物認知を促し、誤嚥予防のためにも、ご利用者に適した高さのテーブルと椅子で、美味しく食事を摂っていただくようにする。	①理学療法士等に個々のご利用者のテーブルでの坐位状態を見てもらい、高さを検討する ②椅子の高さが不適合な方にはクッションや踏み台を用い、適切な高さ・姿勢になるよう調整する	1ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。